



石岡市議会議員

櫻井 茂

活動報告

平成 28 年 (2016 年)
6 月 1 日 第 4 号

■発行/櫻井しげる後援会 ■住所/315-0013 茨城県石岡市府中3-11-28
■電話/0299-22-3881 ■FAX/0299-22-3881
■WEB <http://www.sakurai.click/> ■Mail sakurai@sakurai.click
■Facebook <https://www.facebook.com/shige.sakurai.3>

日ごろより、櫻井茂の議員活動に深いご理解とご支援を賜りますことに感謝申し上げます。
石岡市議会議員としての活動も1年余。この間、多くの方々との意見交換をさせていただき、教育・福祉・環境・経済・道路整備等へのご意見やご要望をいただきました。ありがとうございます。
おかげ様で活動報告も第4号となりました。今回は、第1回定例会において、私が行った一般質問と議案質疑、予算特別委員会での質疑を中心に、拙文ではありますがまとめさせていただきました。
今後とも、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

熊本地震について

2016年4月14日、熊本地震が発生し、甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方々に心よりご冥福を申し上げますと共に、被害を受けた皆様には、一日も早く平穏な暮らしを取り戻されることをお祈り申し上げます。

築城四百年を越える国宝熊本城の損壊や阿蘇大橋の喪失、そしてあまたの家屋倒壊等、心を揺さぶられる映像が数多く放映されているのを目にする度に心が痛みます。

東日本大震災の記憶も新しいところですが、私自身は新潟県湯之谷村(現魚沼市)で経験した新潟県中越地震を思い出しました。平成16年10月23日、翌日の魚沼市合併式典に出席する石岡市助役の随員として、湯之谷村のホテル滞在中に突き上げるような激しい地震に遭遇。激しい余震が続く中、停電で灯りもとぼしく、寒く長い夜が明けると、人の気配が無くなったホテル各部屋は、ただ飲みかけのコップと料理が散乱していました。

合併式典は中止となり、倒壊した家、脱線した上越新幹線を横目に、快晴で美しい姿を見せる山々を背に、車は三国街道を茨城に向けて走りましました。途中、近代的なホテルが立ち並ぶ湯沢温泉や苗場などの観光地を通過するも、人影が殆ど無くゴーストタウンの様相。月夜野インターから関越自動車道に入り、サービスエリアで休憩をとると、テレビに土砂崩れや家屋倒壊映像が次々映し出されています。被災現場にいた私たちが、地震被害の大きさを初めて知った瞬間でした。

熊本地震発生後石岡市は、民間の協力を得て速やかに支援物資を現地に送りました。また、看護士1名と防災対策課職員3名を被災現場に派遣する等、積極的な姿勢が伺えます。今後の防災対策に大きな成果となることを期待したいと思います。

議会改革推進特別委員会の審議状況

議会報告会の開催日が決定

先送りになっていた議会報告会の開催日が決定。石岡地区は10月29日(土)午後…ふれあいの里、八郷地区は11月12日(土)午前…八郷総合支所1階会議室で開催する予定となりました。

報告会の内容や進め方については、他市議会の例を調査しており、詳細を詰めているところです。

その他の議会改革

議会報告会以外の取組みについても並行して審議を進めており、「政務活動費」の使用状況(会計報告及び先進地視察報告)のインターネット公開、市議会議員の市税納付状況公開について議論を深めています。時代の要請に応じた市議会を目指して内部から改革を進めていきたいと思えます。

山東昭子参議院議員誕生会

市議選の折、私の応援に駆けつけてくれた山東昭子参議院議員の誕生会「休みナシ(74才)」に参加しました。

各界の著名人が多数参加されておられ、その人脈に驚くばかりです。

乾杯の挨拶は、歌手の北島三郎さん。

高村自民党副総裁や次期参議院選挙に立候補予定の今井絵理子さんの姿も見えます。



第1回定例会で行った一般質問

◎救急現場におけるバイスタンダーの役割とAEDの活用について

◆質問 昨年暮れ、中学校体育館で武道の稽古中に男性が心肺機能停止となり、現場にいた方の心肺蘇生とAED利用後、病院に緊急搬送。現在は社会復帰されておられます。救急現場に居合わせた方をバイスタンダーといいますが、この役割の重要性とAEDの働きについて質問します。

(1) 救急通報から現場到着までの所要時間と傷病者の態様について。

消防長答弁要旨 救急車の現場到着は平均8分30秒。心臓が止まると15秒以内に意識がなくなり、3分から4分以上そのままの状態が続くと回復することが困難になる。

(2) バイスタンダーの役割と効果について。

消防長答弁要旨 バイスタンダーによる、119番通報、傷病者の安全確保、救命措置（人工呼吸・胸骨圧迫・AED使用）がされると、何もしない場合に比べ10倍以上、社会復帰率が高まる。

(3) 市内設置のAEDの状況について

教育部答弁要旨 夜間休日に施設開放している小中学校全ての校舎内にAEDを設置。校舎外で事故が発生した場合には利用が難しく検討したい。

◆再質問 目の前の建物内にAEDが有るが、鍵がかかっていて使用できない。これは絶望的です。必要な時に、AEDがその機能を果たせる設置・管理方法について市長の考えを伺います。

市長答弁 これまでは、AEDの数を増やすことに重点をおいてきたが、議員が言われるように、設置場所が不明、発見に時間がかかる例もあり、効果的な配備と管理が求められる。市民がとっさに使用できることを最優先に設置場所とその表示、24時間利用可能などの点に配慮していきたい。

◎犬猫の殺処分ゼロに向けた取り組みについて

◆質問 ペットブームといわれて久しいが、その影で数多くの犬と猫が殺処分されています。茨城県は、2005年度から2012年度の8年間にわたり、全国一犬の殺処分が多い県という不名誉な順位となっています。飼育放棄やモラル無視による糞の放置、鳴き声、不妊去勢手術をしないこと等、石岡市も例外ではありません。犬猫の殺処分ゼロに向けた取り組みについて質問します。

(1) 石岡市内で飼育されている犬猫の現状と飼い主のマナーアップについて。

生活環境部長答弁 犬の登録数は5,985頭。

鳴き声や糞の後始末等の苦情相談が寄せられており飼い主を指導している。県動物指導センターへ石岡市からは、H25年度は犬100頭・猫104匹。H26年度は犬97頭・猫66匹が引き取られている。

(2) ボランティア団体との連携強化について生活環境部長答弁 市内には積極的な活動をしている団体はありません。

(3) 動物愛護に関する市条例と計画の策定について

生活環境部長答弁 殺処分ゼロ活動にはボランティア団体の協力が不可欠であり、条例や計画策定は検討したい。

◆再質問 県はH25年3月に動物の愛護及び管理に関する条例等を整備し、犬猫の適正飼育に歩みだしました。これまでの石岡市政では省みられなかった犬猫の殺処分ゼロに向けた条例や計画策定について市長の考えを伺います。

市長答弁 犬猫は、人類が有史以来パートナーアニマルとして共生・共存してきました。石岡市では山間部や農地の一角に捨て犬や捨て猫が見られます。H28年度中に動物愛護に関する市条例と実施計画策定に取り掛かるよう指示したところです。

提出された議案に対する質疑

◎議案第13号 石岡市一般会計補正予算(第6号)

◆質問 H27年度における地方債証券の共同発行によって生じる連帯債務、元金36億円及びこれに対する利子相当額を限度とする債務負担行為の内容を伺います。

財務部長答弁 本件はH27年度茨城県・市町村共同公募債、通称「大好きいばらき県民債」で、県が30億円、石岡市が1億円、ほかに4市が6億円を持ち寄り発行するものです。H27年度予算の地方道路整備事業債2億2千5百万円の一部として道路整備に充当するものです。

提言 共同発行債は許可制から届出制になり裁量権が拡大したので、財政管理をしっかりとすること、そして返済額は減債基金に積立てをお願いしたい。

◎議案第40号 石岡市歯と口腔の健康づくり推進条例を制定することについて

◆質問 市条例は200を超えるが、その中で前文を規定しているのは、石岡市議会基本条例と協働のまちづくり条例だけである。本条例案の前文に込めた思いについて質問します。

保健福祉部長答弁 前文については、市民の誰もが親しみやすくわかりやすいものとするためです。市長答弁 石岡市歯科医師会が県の6424運動に沿うようキャンペーンや講演会等をやってきた実績を通じて機運が高まったところであり、そうした思いが込められていると思っている。

提言 第7条に基本的施策が8項目掲げられており、実効性を担保するうえで関係機関の協力と支援を求めていく必要があります。これらの具体的な取り組み事項を盛り込んだ前向きで先進的な条例案を評価したい。仮に可決となった場合には、8項目が着実に実行されることを期待します。

予算特別委員会における予算審議

市長から提案された平成28年度予算案を全議員参加による予算特別委員会で審議しました。

以下は、私の行った質疑の抜粋です。

◎総務委員会所管分

◆**質問** 冒頭、財務部長から財政推計を伺いました。人件費も推計されていますが、H28年4月の職員数の見込みを伺います。

担当課長答弁 638人です。

◆**再質問** H18年からH22年にかけて（市職員）定員適正化計画があった。H18年では職員数737名だったのでH28年度は99名減。H22年以降、適正化計画が策定されていないが、いったい何を根拠に適正な職員数を見込んでいるのか伺う。

担当課長答弁 退職者、再任用職員、人事ヒヤリングを総合的に勘案して職員数を出している。（本件は、市長出席の総括質疑で再質問しました）

◎経済建設消防委員会所管分

◆**質問** JR石岡駅橋上化工事が完了し観光案内所も移転します。石岡のおまつりで使う山車と幌獅子のガラス張り展示ブースも設けられますが、このブースの管理は誰がやるのか伺う。

担当課長答弁 展示室は都市建設部所管。

◆**再質問** 費用は計上されていますか。

担当課長答弁 予算は計上していません。（管理）要綱等を作成して予算についても議会に説明したい。（その夜、私に電話が入り「維持管理の予算は計上していた。勘違いでした」とのことでした。総括質疑で再質問しました。）

◆**質問** 昨年の決算特別委員会において質問した、旧石岡地区と旧八郷地区に分かれている道路台帳統一の予算化はなされているのか伺う。

担当課長答弁 統一の見積もりが1億3千万円に

なることから、他市の状況を調査し検討する。

◆**要望** 道路台帳は1本で管理すべきです。今後十分に研究検討してください。

◆**質問** 消防分団維持管理経費の車両修繕費は分団車両に使われているかと思いますが、どのような修繕があり、一番古い車両は何年か。

担当課長答弁 ブレーキパットやファンベルトの交換、各オイル交換や故障に係る修理費用です。最も古い車両は25年が経過し、H28年度に整備更新する予定です。

◎教育福祉環境委員会所管分

◆**質問** 協働のまちづくり事業の貸出備品は何を扱うのか伺います。

担当課長答弁 市民から要望がある物で対応する。

◆**要望** 八郷地区の方は、本庁舎まで備品を借りに行くのが大変です。支所にも草刈機を1台用意していただければと思いますのでご検討ください。

◆**質問** 昨年、トイレ洋式化を一般質問したところ、児童館にトイレ洋式化改修工事が予算化されていますが、工事はいつごろになりますか

担当課長答弁 なるべく早い時期に行いたい。

◆**質問** 新たな補助制度である犬猫の去勢・避妊手術補助額補助基準に、市内の獣医さんに手術をしてもらうことを要綱に加える考えはありますか。担当課長答弁 市内獣医では記載していない。

◆**要望** できましたら、地元の獣医さんにやっていただくことを検討課題としてください。（その後、「広報いしおか」に市内獣医の手術に補助すると記載されました。）

◎総括審査

◆**質問** 策定されていない定員適正化計画に関する議会答弁では、H21年には総務課長、H24年に

は総務部長と市長が計画を策定すると答弁している。H26年には行財政改革にあわせて策定すると総務部長が答弁。計画策定の考えを伺う。

総務部長答弁 正職員のほか臨時・嘱託職員・再任用職員も含めると、ここ10年は千人規模で推移している。計画策定は新年度の課題としたい。

◆**提言** H18年予算総額は51億円。削減目標以上の80名減となったH22年の予算総額は46億5千万円。H28年は99名減少しているが53億8千万円。職員一人当たりの予算額ではH18年に比べH28年は120%になる。検討する時期は過ぎている。職員定数を議論できる基礎を作ってほしい。

◆**質問** 石岡駅脇の山車と幌獅子の展示ブースの維持管理経費は予算化しているという連絡が入ったが、公の施設であれば地方自治法第244条の第2項規定の設置管理条例設置はどうなっているのか。市長公室長答弁 各部門にまたがる重要な事業は今後、政策調整会議で調整決定してお示しする。

◆**再質問** 法規定の条例設置をせず3月30日に施設をオープンしているのか。担当はどこか伺う。都市建設部長答弁 展示場はおっしゃるとおり公の施設になります。設置管理条例を制定したい。

◆**提言** 経済部（観光課）と都市建設部の情報交換が上手く機能していない。企画調整部門は、複数部・課にまたがる重要な案件を「待ち」ではなく、一歩踏み出して、でしゃばりと言われるのを恐れず事業の調整・進行管理をしてほしい。

◆**質問** H28年度から、石岡の歴史や文化、自然等を学ぶ「ふるさと学習」が始まるが、若者の流出防止に向けて、将来は石岡に戻って活躍するよう故郷愛を高める指導していただけないか伺う。

教育長答弁 委員ご指摘同様の認識を持っている。時間はかかるが、教育の分野から一つの切り口としてできればという考えを持っている。

湖北環境衛生組合議会報告

私は、湖北環境衛生組合議員ではありませんが、公金の使い方について問題となっている話題を報告いたします。

湖北環境衛生組合概要

湖北環境衛生組合は、石岡市・小美玉市・かすみがうら市・土浦市（H13年新治地区が加入）が設置する組合として、し尿を共同処理する石岡クリーンセンターをS46年から運営しております。所在地は石岡市東府中25番1号。

地域対策

し尿の臭気（悪臭）が施設周辺に住む方々に迷惑をおかけしていることから、平成17年3月に尿汚泥を焼却処分する施設を建屋内に造り、臭気が外にでないようにしました。さらに、施設前の道路を拡幅整備し、し尿収集車が施設周辺集落内を通過しないようルート設定もしています。

一方、施設周辺の東府中・行里川・東大橋の3地区に対しては、平成15年に迷惑料Ⅱ補償費として4千270万円を支払いました。平成18年から施設内の草刈業務を3地区の方々が構成する柏山浄化プラント対策委員会に業務委託しています。

意味不明の看板

H28年度の組合予算案は、施設内の草刈業務委託160万円（年に3日間の作業）について「他の例に較べて高すぎる」「地域対策・補償は委託とは分けて考えるべき」との意見を踏まえ、組合管理者（今泉石岡市長）が作業内容に見合う金額の積算と補償の必要性を検討するとして予備費に組み込み、組合議会はこの予算案を賛成多数で可決しました。（反対は新人議員1名）

ところが、この議決を不服

として、石岡市長・小美玉市長・かすみがうら市長ほか、石岡市議会議員13名を非難する看板3基が施設前道路沿いに設置されました。

なぜか組合議員でない私の名前も有ります。皆さんはこの看板をどのように受け止められるでしょうか。

住民監査請求が提出される

前管理者（前石岡市長）時代に50万円が増額され、草刈業務委託料は160万円になりました。そしてこの業務委託を「10年間の覚書」として締結。地方自治法では、この覚書のように複数年にわたる債務は議会の承認を義務付けていますが、組合議会には議案として提出されていません。

また、草刈業務委託単価は石岡市が発注する同種の業務委託料に較べて4〜5倍高いため、その差額は地域対策・補償費が含まれていると想定され、これを裏付けるように、地元長老議員が、「委託業務残金は3地区で分配している」と組合議会が発言。業務委託残金が施設周辺地域に対する補助として扱われていることになり、公金が適正に管理・使用されているのか確認する必要があるが、柏山浄化プラント対策委員会決算内容と残金の分配先である3地区会計決算は未だに明らかにされていません。そのため、各会計決算内容を明確にすること、さらに不当に高い委託金額の返還を求める住民監査請求が、土浦市民を含め40名の署名により組合に提出されたところ。組合監査委員の審査結果に注目しましょう。



議会を傍聴してみませんか

平成28年第2回定例会が6月7日に開会いたします。会議の開始時間は全て午前10時です。

傍聴席では飲食・携帯電話の使用、私語の禁止など、モラルを守つての傍聴にご協力をお願い申し上げます。また、市役所及び市議会は5月1日からクールビズとなり、ノーネクタイでの執務となりました。



第2回定例会日程

月 日	曜日	会議内容
6月7日	火	開会
8日~12日		(休会)
6月13日	月	一般質問
6月14日	火	一般質問
6月15日	水	一般質問
6月16日	木	議案質疑
6月17日	金	教育福祉環境委員会
18日~19日		(休会)
6月20日	月	総務委員会
6月21日	火	経済建設消防委員会
6月22日	水	議会改革推進特別委員会
6月23日	木	議会運営委員会
6月24日	金	採決・討論・閉会

議員活動報告について

活動報告は、議会・議員の活動や市政の様子をまとめています。紙面の都合上、要約した内容となっております。詳細については石岡市議会ホームページや図書館等で会議録をご確認いただければ幸いです。お気づきの点など有りましたら遠慮なくご意見をお寄せください。

送付を希望されない場合もご連絡ください。お手紙、電話・FAX・メールを問いません。